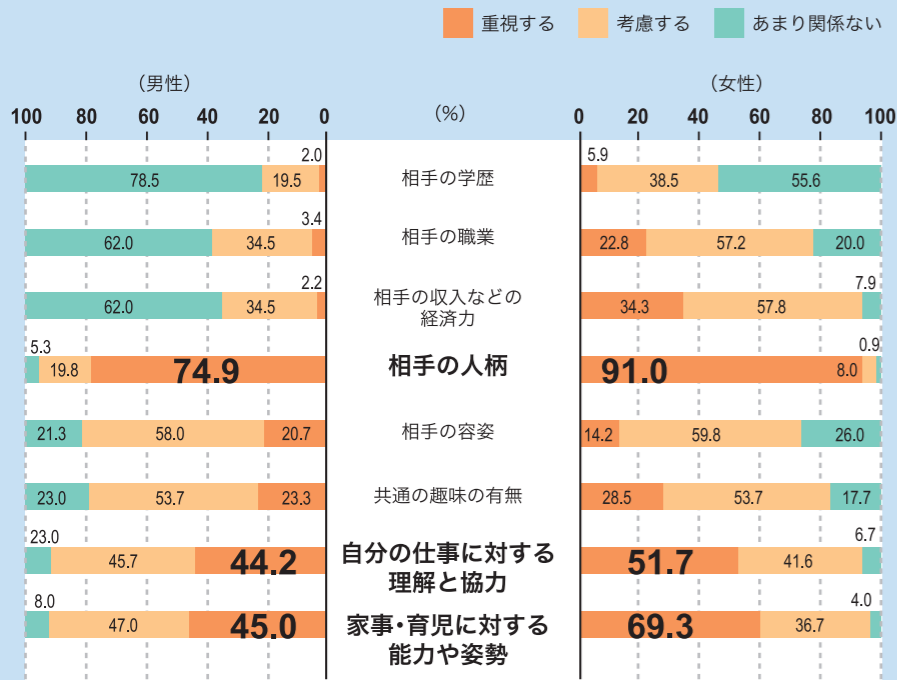


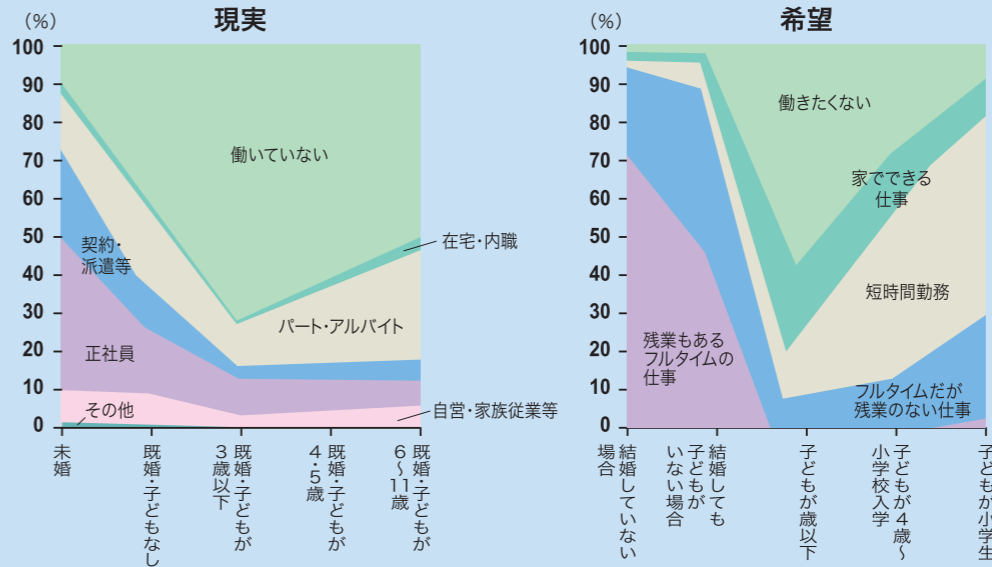
結婚相手を決めるときに重視すること



国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」(2002年)により作成 (平成19年度 国民生活白書)



男女とも人柄が最優先で、次に家事・育児に対する能力や姿勢を重視しています。特に女性にこの傾向が高く、経済力よりも家事育児に協力的で、自分の仕事を理解し協力してくれる人を求める女性が多いようです。



女性のライフステージに応じた働き方の希望と現実

3歳以下の子どもをもつ女性の約半数が、何らかのかたちで働きたいと望んでいます。しかし現実には約3割しか働いておらず、小さな子どもがいる女性が、仕事を続けるのが難しい現状を示しています。

- (備考)
- 1.内閣府「女性のライフプランニング支援に関する調査」(平成19年)より作成
 - 2.「自営・家族従業等」には、「自ら起業・自営業」、「自営の家族従業等」を含み、「契約・派遣等」には、「有期契約社員、委託職員」、「派遣社員」、も含む
 - 3.調査対象、30～40歳代の女性である

使いますが、あれば自分が自分らしく、女性であること“を楽しむ力だ”と思います。

司会／「経済力がある男性に養ってもらいたい」という時代なら女性らしさをアピールして恋人をゲットしたけれど、今は経済力のある男性が少ないうえ、それなら自分の好きな服を好きなように着る、という心理でしょうか。恋愛や結婚を人生の目標にしているというか。

松村／そうですね。一方、男性へのアンケートで「なぜ結婚しないのですか」と聞くと、収入が不安定だからという回答が多いですね。男性はまだどこかに「家庭を持ったら自分が養わなくてはいけません。婚活パーティーでも、男性のほうが集まりはあまり良くないんですよ。」参加しても何を話していいかわからない」という方も多くいますね。それに、結婚に対する準備が整っていないのに、相手を見つけないでいくなんて...という心理なのではないでしょうか。

子どもがいても働きたい正社員を目指したいけれど...

司会／不景気と言われ続けていますが、新田さんはハローワーク・マザーズサロンで子どもを持つ母親の再就職サポートを行っていますね。

新田／結婚や出産で離職する女性



するのは難しいですね。そんなことを言つてリストラされては困るし。

新田／それでも、最近の男性は妻の再就職活動に協力的だと思います。例えば、妻がパソコンで求人検索をしている間、夫が子どもの相手をしている光景もよく見かけます。以前と比べて、できることをできるほうがやる、という雰囲気があるので、男女の役割を自然にシェアしているように感じます。

結婚相手の必須条件は家事力のある男性！仕事も家事もシェアが基本

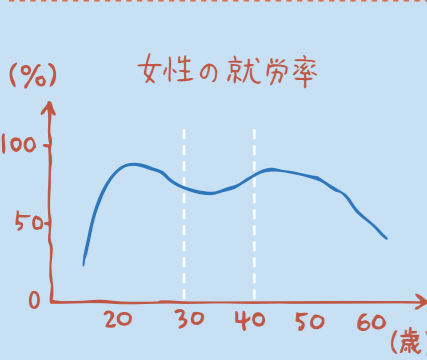
司会／いま「シェア」という言葉が出ましたが、30代カップルの場合、家事や育児は自然にシェアしているのでしょうか。松村さん、いかがですか。

松村／私のいる会社の女性スタッフが結婚する男性に求めるものは、家事をちゃんとやれるかどうか(笑)、これに尽きます。相手の収入より家事力を重視していますね。

川村／夫が家事できるようなになるかどうかは、妻がいかに夫を教育するかにかかっていると思います。注意されると男はいやになっちゃうから、ほめちぎりながらやらせるのがポイント(笑)。

司会／結婚生活をうまく回していくには、女性の力量が必要ということですか。

川村／はい。男性はのめりこむと



女性の就労率

女性の就労率が20代後半から30代にかけて下がり、グラフにするとM字型の曲線を描くこと。結婚や出産、育児をきっかけに退職する人が多いため、40代になると再び就労率は上がる。なお、各国を比較するとこのような曲線を描く国は日本と韓国くらいで特徴的。他の先進国にはみられない現象である。

女性のM字型曲線

1991年に成立の後、数度の改正が行われ、2009年6月にも改正が行われた。この改正は、男女ともに子育て等をしながら働き続けることが可能な雇用環境の整備を目的にしたものである。具体的には、3歳未満の子を養育する労働者についての短時間勤務制度を義務化、専業主婦の夫も育児取得が可能に、介護のための短期休暇制度など。また、この法律を順守しない事業主に対しては、制裁制度が設けられた。

育児・介護休業法

1991年に成立の後、数度の改正が行われ、2009年6月にも改正が行われた。この改正は、男女ともに子育て等をしながら働き続けることが可能な雇用環境の整備を目的にしたものである。具体的には、3歳未満の子を養育する労働者についての短時間勤務制度を義務化、専業主婦の夫も育児取得が可能に、介護のための短期休暇制度など。また、この法律を順守しない事業主に対しては、制裁制度が設けられた。

社会的起業

社会問題をビジネスによって解決することを目指す起業。例としては、貧困解決のための雇用創出や、環境汚染の解決のためのエコ商品の開発・販売等がある。社会起業家を志して、20代、30代で独立する若者も現れている。

氷河期世代

就職氷河期に学卒年齢を迎えた1970年〜82年生まれ世代の通称。新卒で正規雇用で就くことができず、派遣社員やフリーターなどの不安定な雇用形態の者が激増した世代であると言われている。俗に「貧乏クジ世代」、「ロスジェネレーション」(朝日新聞)などとも呼ばれている。

世代間格差、世代会計

国や自治体から受ける年金や社会福祉サービス(受益)と、逆に支払う税金など(負担)とのバランスが世代によって違うこと。若い世代ほど、負担が大きくなっている。また、負担の差を世代ごとに計算して損得を明らかにする手法を世代会計と呼ぶ。

30歳前後の有名人

★79年生まれ

堂本剛(KINKI KIDS)
国仲涼子(女優)
仲間由紀恵(女優)
蛭原友里(モデル)
三宅健(V6)
上村愛子(モーグル選手)
杉村太蔵(元国会議員)
aiko(歌手)

優香(タレント)
広末涼子(女優)
ATSUSHI(EXILE)
松坂大輔(野球選手)
岡田准一(V6)
大野智(嵐)
妻夫木聡(俳優)
青井実(アナウンサー)

★81年生まれ

安達祐実(女優)
荒川静香(フィギュアスケート選手)

★82年生まれ

安倍なつみ(歌手)
小泉進次郎(政治家)
柴咲コウ(女優)
田中マルクス闘莉王(サッカー選手)
中村勘太郎(歌舞伎役者)
前田遼一(サッカー選手)
櫻井翔(嵐)
向井理(俳優)
狩野英孝(お笑い芸人)
滝沢英明(歌手)

★82年生まれ

安田美沙子(タレント)
藤原竜也(俳優)
葉山エレヌ(アナウンサー)
富永愛(モデル)
成宮寛貴(俳優)
小林麻央(アナウンサー)
北島康介(水泳選手)
森泉(モデル)
深田恭子(女優)
瑛太(俳優)
小栗旬(俳優)
相葉雅紀(嵐)

★80年生まれ

田中麗奈(女優)

工夫したりしてね。ぼくも多少やりまよ。
松村／イクメンとかイケダンという言葉が流行っていて、楽しく家事や育児をやっている感じがしますよね。新田／いまお話を聞きながらふと感じたのですが、「女性が男性をどう仕込むか」という考え方って、ひょっとして私たち以上の世代の発想なのかもしれないですね。「家事の主導権は女性にある」という前提の上に成り立っている。私自身もそうでした。でも松村さん世代は、そもそも「そんなのふたりでやればいいじゃん」みたいな感覚を持っているのでは？ どちらがどっちを教育するとかではなく、同じスタートラインに立てるんですね。
司会／専業主婦が一般的な時代は「家」女性が管理するもの」という印象が強かったですよ。それが今は「共同生活する空間」に変化し、家事もお互いにするのが当然、という考え方に変わってきているのかもしれない。
松村／弊社では「eしずおかブログ」という地域限定型のブログを運営もしています。ブログ上で知り

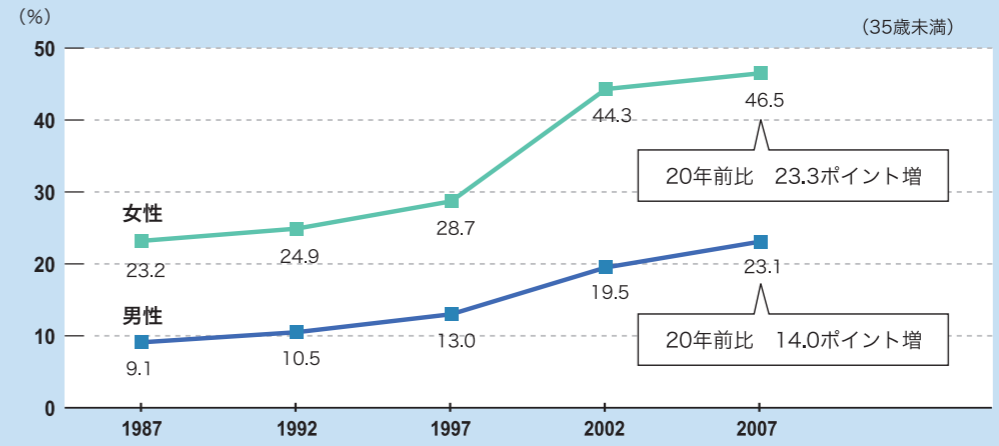
社会の仕組みを変えるために30歳ができること

があって、その上でお互いが新たなネットワークを作っていくということですね。個人主義の時代を経て、一人ひとりがしっかりと立った上でお互いがつながっていったら、素晴らしいと思います。これからは「個から始まるネットワークの時代」と感じます。

川村／これだけ時代や環境が変化しているというのに、社会の仕組みや法律がほとんど変わっていないのが気になります。未だに世の中の制度は多くは、高度経済成長期のものを引きずっている。これは政治の責任でもあるし、我々の責任でもあります。「誰かが何とかしてくれよう」と問題を先延ばしにしてこままで来てしまったからね。今の30歳に申し訳ない。これ以上、思考停止を続けていたらダメですね。それこそ一人ひとりが自分の問題として立ち上がらなくては。

松村／それは30歳にも言えることです。団塊の世代が年金の負債を残してくれちゃって自分たちが不幸になった、だからしょうがない……ここで私たちの思考を止めてはいけないと思います。これからの社会を動かしていくのは私たちの世代だし、私たちが思考を停止した

雇用者に占める非正規雇用者比率



厚生労働省「就業構造基本調査」各年版より



35歳以下の非正規雇用者は20年間で約2倍以上に増加しています。07年には女性は2人に1人、男性は4人に1人が非正規雇用者。年収の低下は結婚や子育ての壁となり、未婚者の増加や少子化に大きな影響を及ぼしています。

合った人たちが実際に会って町おこしのイベントを企画したり、NPOを立ち上げたりしています。私たちも予測していない動きでした。30代の子育てママネットワークも数多く生まれています。
荻野／ネット上で知り合った人同士で、「〇〇の勉強をしましょう」と呼びかけて勉強会を開催することも多いですよ。少し前だったら、偉い先生を招いて一斉にセミナーを開くというスタイルでしたが、いまはお互いに情報交換をして教え合う。
川村／昔からの地域の絆というのが高度経済成長の頃から徐々に崩壊し、個人主義が進みました。煩わしいことはできるだけ避けたい。でも、人は本能的には人とのつながりを求めているのだと思います。だから、ブログを通じて新しいネットワークができるというのは自然なことなんです。
新田／地域や親族のつながりにはいい面もあるけれど、煩わしい面もたくさんあります。それは自分で選択できなくて、半ば強制的に結ばれる関係だからなのでは？ でも、みなさんがおっしゃるつながりの形は、まず、「個」としての自立

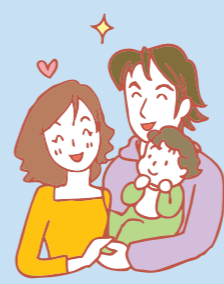


らそれこそ日本が止まってしまおう。震災もあって今とても大変な時代だけれど、最初にも言ったようにチャンスの扉はあちこちに開いています。それをしっかりと見極めて、着実に行動を起こしていくべきだと思いますね。
川村／いいんですよ、30歳が団塊世代のお尻をたたいても(笑)。団塊世代はパワーもノウハウもあるから、地域や国をよくするためにもうひと旗あげてくれるでしょう。
司会／団塊世代と30歳がコラボレーションしたら、新たな活路が生まれてくるかもしれないですね。性別、年齢を越えていろんなものを共有し、分けあっていく。そんな時代が始まっていると感じました。今日はどうもありがとうございました。



■ワークライフ・バランス
国民一人ひとりが仕事と生活の調和を実現するために、政府、自治体、企業等が一体となって進める取り組み。これが実現された社会は、①就労による経済的自立が可能な社会、②健康で豊かな生活のための時間が確保できる社会、③多様な生き方・働き方が選択できる社会、と考えられている。

■イクメン、イケダン
イクメンとは、育児を積極的に行う男性のこと。「イクメン」から転じたものとされる。2010年には厚生労働省が「イクメンプロジェクト」を発足。男性が育児休業を取りやすいように企業への広報も強化し、仕事と家庭を両立できる環境を整える狙い。またイケダンとは「イケてるダンナ」の略で、女性誌「VERY」から生まれた言葉。仕事をバリバリこなしながら家族も大切に、外見やファッションも気を抜かない男性のこと。



■SNS
ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。利用者相互の交流によって、社会的なネットワークを構築することを主な目的としたインターネットサービス(facebook、twitter、mixi等)を指す。

■労働者派遣法
1986年に施行した労働者派遣事業に対する規制と派遣労働者の就業について規定した法律。2004年に改正が行われ、派遣可能期間が延長され、派遣対象業務が拡大されるなど、規制が緩和される方向性があったが、派遣対象業務や派遣期間を法規制する動きがある。

■ジェネレーションY(Y世代)
1975年〜89年生まれの世代を指す。アメリカ等での通称。父親・母親がともに第二次大戦後生まれの場合がほとんど。幼少期から少年期までに冷戦構造が終結している世代でもある。10歳〜20歳の頃にインターネットの爆発的な普及の時代を経験しており、インターネットを駆使してコミュニケーションをとることに長けた最初の世代であると言われている。



30歳の本音

仕事、結婚、子育て、これからのこと。様々な立場の人たちに聞く、30歳の本音。多様な生き方を通して見えてくる、30歳の未来。

- 職業：会社員
- 年収：400万円～500万円
世帯年収約750万円
- 家族：夫と子ども2人



カタログショッピングが大好き。「つい買いすぎて、夫に叱られることも(笑)」

専業主婦になっているはずが、気がつけば大黒柱に

M・Tさん/女性/32歳/浜松市

子どもの頃の夢は専業主婦でした。地元の安定企業に就職した動機も「いい結婚ができるかも…」なんて思ったから。しかし入社数カ月で、当時つき合っていた彼と“授かり婚”。お互い就職直後で収入も少なかったため、夢は叶うことなく産休後職場復帰しました。

3年前、リーマンショックの影響で夫の仕事が減少。そこで、私が残業し夫が夕食準備と子どもの世話をす

スタイルを開始。いわば私が大黒柱になったわけですが、夫も私も抵抗はなかったです。彼は料理が得意だし、子どものお世話も上手。一方私とは例えば、「キャリアウーマンみたい」と、意外にも仕事好きな自分を発見しました。

自分が20歳の頃に描いていた未来とは違っているし、今なお「専業主婦してみたい」と夢見ていることも事実。でも現実を変えられないから、この暮らしを最大限楽しみたいんです。結婚して10年。最近思うのは“家族がいるふつうの生活こそ結婚なんだ”ということ。どんな形であれ、夫と子どもたちに囲まれて過ごす毎日が何より幸せだと実感しています。

仕事

Working

夢は仕事と家庭の両立。でも、相手探しははかどらず

K・Oさん/男性/29歳/藤枝市

大学進学で静岡に来てこちらで就職し、7年が過ぎました。理想は「一生、波風立てずに穏やかに暮らすこと」。出版業界への憧れもありましたが、不況の折、そういう仕事で食べていけるか確信が持てず、大手住宅メーカーの営業職に。仕事は充実しています。お客様や取引先との交流で視野が広がり、尊敬できる先輩もいる。ただ、日々の生活が仕事中心で回っていることへの疑問も。平日は残業で帰宅が10時過ぎ。休日も、つついとお客様との約束を優先させてしまいます。

そんな生活を変えたい思いもあり、結婚は今すぐにもしたいです。同世代の家族連れを見かけると、幸せそうでうらやましい。妻が仕事をも

つのはかまいません。でも、僕や子どもが帰宅した時、「おかえりなさい」と言ってほしい。仕事で疲れて、誰もいない家に帰るのは寂しいじゃないですか。家事や育児は僕もできるだけサポートします。家族をもつ先輩たちは、残業分の仕事を早朝出勤でこなし、家族との時間を作り出しています。仕事も家庭も大切に、かっこいいパパに憧れます。

とはいえ、今の生活では女性と出会う機会がなく、なかなか相手が見つからない。お見合いや紹介の話もいただきますが、まだいいかなという気持ちもあって。結婚したいけど、そのための行動は何もしていない、というのが実情です。



長く使えるいいものをと奮発した腕時計と手帳。毎日愛用しています

- 職業：会社員
- 年収：500万円～600万円
- 1人暮らし

結婚

Marriage

ベリー>彼!? 理解ある彼だけど、結婚は思案中

S・Mさん/女性/30歳

ベリーダンスに出合ってから4年、お金はそこそこかけていますが、実家に食費も入れますし、貯金も少ししています。同い年の彼とのデート代は7:3で彼が多めに負担。一緒にベリーの衣装を探してくれたり、発表会を見に来てくれたり。彼にも応援してもらっています。

家事も育児も協力すると言ってくれる優しい彼ですが、結婚となるとちょっと…。理由は彼の収入面の不安です。彼は仕事バリバリタイプではないので、「自分が我慢するから」とまで言ってくれるのですが、子どもを育てて大学までってお金がかかりますよね。老後も心配だし。私自身、正社員の職も探していますが、職種の

に難しいのです。また、以前は仕事で疲れ果てていましたが、現在の職場は人間関係も良好で、定時に終わって趣味も楽しめるので、どうしても正社員という強い気持ちはありません。

20代はそれなりに楽しんで、30歳になったらお母さんになって、社会貢献もして…と想像していましたが、大違い。未だに自分のことしか考えていない(笑)。でも、このままいったら、やっぱり彼と結婚するのかなとも思っています。



仕事後のビールは欠かせない。おいしいものを飲んだり食べたりするのが元気の源

結婚…機会があればします!もちろん

Y・Oさん/女性/30歳/静岡市

東京の大学を卒業後、地元の企業に正社員として就職、その後、結婚を機に退職したものの3年後に離婚しました。彼とはうまくいっていましたが、彼の家族と合わなかったんです。現在はひとり暮らし。仕事帰りにはほぼ毎日実家に立ち寄り、親とは程よい距離かと思えます。収入は家賃、光熱費や携帯電話、外食費に。友だちとも、ひとりでもよく飲みに行くので、使わずでしまいます。

今の職場は緊急雇用対策事業、1年契約なので、先が見えない不安があります。今後について、親は正規の仕事をとりますが、年齢的にも難しくそうだし、責任も伴うので迷うところ

です。結婚相手にもよりますし。そう、再婚はしたいです。家事は好きなので基本的には男性に手を出してほしくないです。テリトリーを侵されたくないというか…。役割を決めたら任せちゃいますけど。

20歳の頃は、30歳の自分はキャリア優先かと思っていましたが、実際、職場の先輩を見て目標にしたいとは思いませんでした。今の自分は、友だち優先、幅広い年齢、職業の友だちがたくさんできたと感じています。

- 職業：契約社員
- 年収：200万円～300万円
- 1人暮らし



10年後も踊っていたい! 大好きなベリーダンスは非日常に引き込んでくれる

- 職業：契約社員
- 年収：200万円～300万円
- 家族：両親